

～皆様から見聞きしたこの地域の課題について～

農林水産委員会で質問しました！



農地のマッチング支援を

農家の方々が高齢になり、田畑の耕作をやめようと考えているという声を伺う。スムーズに移行できるように中間管理機構の利便性改善や専任の現地相談員を配置してサポートする等必要ではないか。



↓農林水産委員会審議の様子

県の
答弁

県として機構の貸付期間や手続きの煩雑さなど改善した。使いやすい制度になるよう国へ要望する。現地相談員は県内で現在2名、岡崎市内で配置しており、地区内の相談役として農地の出し手、受け手からの相談対応等行っている。今後重点的に配備して農地利用最適化推進委員の相談にも乗っていきたい。



若手就農者の経営が軌道に乗るよう支援を

若手の就農者支援の重要な制度に、農業次世代人材投資資金（旧青年収納給付金）制度がある。現在国により要綱が改正され、新たに給付金を受ける方には専門家のサポートがつくよう改善されたが、今までに受給終了された方の中にも経営が軌道に乗っていない方がいる現状がある。受給終了後の方も専門家のサポートや相談等の支援が受けられるようにできないか。

県の
答弁

経営開始型として、経営が不安定な独立・自営就農直後に最大5年間給付するものであるが、この受給者はこれまで357名おり、昨年度までに受給終了した方は120名。終了者の経営状況は、年間農業所得250万円以上の方は12名、経営が赤字の方が33名、離農者は17名である。県農業普及課では、いつでも相談に乗れる体制を整え、営農状況を把握するとともに、JA等の生産部会を通じた技術指導や、農家への巡回指導を行い、自立できるよう支援していきたい。



↑今回退任された堀井奈津子副知事と民進党県議団のみなさんと一緒に。

りえのひとこと

今回から1年間の任期で農林水産委員を拝命致しました。この地域の課題をしっかりと取り上げ、課題解決に向けて努力をしたいと思えます。皆様のお声が私の議員活動の礎です。お気軽にご連絡ください。



ご意見・ご感想などをお寄せください ●ホームページ <http://www.ootakerie.jp>
●発行 おおたけりえ事務所 〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2 TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

愛知県議会議員

おおたけりえ



県政レポート vol.010

〒442-0854 豊川市国府町流霞59-2
TEL.0533-80-1055 FAX.0533-80-1056

突然の集中豪雨への対策をしっかりと！

皆様、いかがお過ごしでしょうか。7月に発生した九州北部の集中豪雨、尾張地方での豪雨等において被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

このところの異常気象により、過去に発生したことの無い場所でも、内水氾濫、洪水、がけ崩れ、土石流などの危険があります。インフラ等の備えも必要ですが、それだけでは十分とは言えず、日頃から防災の知識をしっかりと共有し、いざという時は地域で助け合い、支え合えるようにしたいものです。

情報入手手段は確保されていますか？

災害時は、早めの情報収集、判断、行動がとても大切です。情報入手の方法としては、豊川市防災無線（屋外スピーカー、戸別受信装置）、とよかわ安心メールなどがあります。テレホンサービス 0180-995-550 で聞くこともできます。

★地デジデータ放送による災害関連情報

比較的簡単なのは、地上デジタル放送テレビのデータ放送です。リモコンのdボタンを押して、「気象情報」を選んで頂くと、避難勧告・指示等の発表や、避難所開設などの最新の情報が簡単に入手できるようになっています。また、近くの河川の水位もこちらから見るができます。この機会に確認しておいて下さい。

☆とよかわ安心メール

（防災・気象・子育て・文化等の連絡が入ります）

空メールやQRコードからの登録方法
①携帯電話から次の宛先に空メールを送信します

toyokawa@entry.mail-dpt.jp

※バーコードの認識ができる携帯電話をお持ちの方は、下のQRコードをご利用ください。



とよかわ安心メール
登録用QRコード

⑥登録の完了

いざという時のために今のうちにできることは？

★防水板や土のうを準備

土のうなどで水をせき止めるのは有効です。初期の段階なら、2重にしたごみ袋に半分程度水を入れた臨時の水のうなどで応急処置ができます（土のうほど重くないのが利点です）。

★避難するとき持参するものを

まとめておく。備蓄品も準備を！

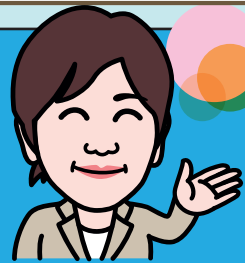
★ハザードマップを確認しておく

マップを活用して自宅周辺の危険度を知り、避難場所や安全な避難経路を確認しておくことも大切です。ご家族や近所の方とも話し合っておくといいですね。

※豊川市ホームページ

<http://www.city.toyokawa.lg.jp/kurashi/anzenanshin/bosai/bosaihazardmap/index.html>

～成立した愛知県補正予算の主な内容をご報告します～



平成 29 年度補正予算として、
一般会計 3 億 5756 万 6 千円 の補正予算が成立し、
一般会計 2 兆 5213 億 2056 万 6 千円、特別会計 7661 億 7025 万円
企業会計 1975 億 2582 万 7 千円 となりました。

1 プロフェッショナル人材戦略

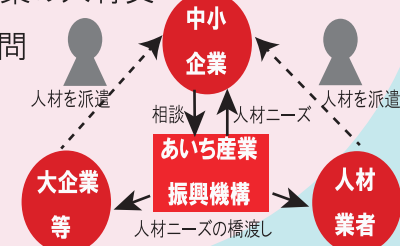
拠点運営委託事業費 2000 万円

あいち産業振興機構が行う人材ニーズ発掘とマッチング支援について、大企業からの出向・研修などの人材交流を促進し、県内中小企業でのプロフェッショナル人材の活用を支援。

①大企業と中小企業の人材交流に向けた企業訪問

と交流会の開催

②中小企業等対象セミナー開催



2 ジブリパーク（仮称）構想検討

調査費 2000万円

2005年に開催された愛知万博の遺産である「サツキとメイの家」をはじめ、「トロのふるさと村」など、ジブリの作品群を保存し、多くの方々が見て楽しめる「ジブリパーク」の検討。

2020 年初頭の整備を目指し、クールジャパンを世界に発信。



現在のサツキとメイの家（愛・地球博記念公園）↑

～その他～

高度情報通信ネットワーク改修費 1 億 9543 万円

防災無線の電波障害のため無線中継施設を改修。

石油貯蔵施設周辺市町村整備事業費交付金 448 万円

石油貯蔵施設が存在する市町村とその周辺自治体が防災用設備をそろえるための費用。

市町村権限移譲交付金 1522 万円

障害者自立支援医療費事務を市町村に委任。

熊本地震市町村災害救助費負担金 1184 万円

熊本地震医療機関等災害救助費負担金 2829 万円

熊本地震において、市町村や医療機関等が災害救助に要した費用を熊本県を通して国が負担する。

条例改正（主なものをご報告します）

○愛知県税条例の一部改正

不動産所得税について居住用超高層建築物の各階ごとの取引価格の動向を勘案。自動車所得税について、エコカー減税の 1 年延長。

平成 30 年 1 月 1 日施行。

○愛知県事務処理特例条例の一部改正

精神通院医療にかかる自立支援医療費の支給認定の申請の審査事務の市町村への委託を明文化。

○愛知学校条例の一部改正

緑丘商業高校→緑丘高校へ変更。半田特別支援学校桃花校舎を大府もちのき特別支援学校へ変更。

○風俗営業等の規制及び業務の適正化等

に関する法律施行条例の一部改正

パチンコ店などからメール等で射幸心をそそる恐れのある広告等を送らないようにするもの。

～豊川市内の建設中主要道路の状況をご報告します～



国道一宮バイパス

豊川インターから、現道拡幅部、JR との立体交差部、区画整理区域を経て、市道上長山一宮線に至るまでの 3.6 km の区間を 1 工区とし、そこから新城バイパスに接続するまでの 4.3 km の区間を 2 工区としている。1 工区の事業は、現在約 6 割の用地が確保されました。

また、昨年度は、区画整理の工事に合わせ、一般県道三蔵子一宮線との交差点部の工事を実施。区画整理事業への道路管理者としての負担金の支払いも順調に進捗しており、今年度が最終年度。今年度は、この区画整理事業に負担金を支払う他、用地買収と水路工事を予定しています。

東三河環状線

大崎工区では、昨年度末で用地買収率が約 9 割強（92.4%）となっており、昨年度は、買収済み区間において、道路築造工事を実施しました。今年度も、引き続き用地買収と道路築造工事を予定しています。

三蔵子工区は、昨年度末で用地買収率が約 8 割強（88.3%）となっており、昨年度は、用地買収のほか、準用河川土々川を渡る橋梁工を行いました。今年度も引き続き、用地買収と橋梁工事を進める予定です。

当古・石巻本町工区は、一級河川豊川の渡河部を含め延長 2.4 km。昨年度、豊橋市側において道路予備設計と工区東側の一部区間で用地調査を行いました。今年度は、引き続き、用地関係の調査を行うとともに、用地買収に着手予定です。



↑東三河環状線大崎工区 工事状況



↑東三河環状線大崎工区 工事状況

県道豊川蒲郡線

豊川市御油町の国道一号を起点として、豊川市御津町を経由し、終点の蒲郡市蒲郡町の国道 473 号に至る、延長 11.5 km の一般県道。道 23 号線蒲郡バイパスの整備に伴い、仮称金野インターへのアクセス道路となります。平成 24 年度より事業に着手し、昨年度は、各区間の用地買収を進めるとともに、バイパス整備区間で準用河川深沢川を横断する管渠工事を実施しました。今年度は、引き続き各区間の用地買収及び、現道拡幅区間で舗装工事とバイパス整備区間で準用河川御津川を横断する橋の下部工事が進められる予定です。



↑豊川蒲郡線 工事状況